

別記様式第1号(第8条関係)

令和 8 年 9 月 30 日

朝日町議会議長

阿 部 為 吉 殿

氏 名 柴田喜久雄

令和7年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)に基づき、別紙のとおり、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

氏 名 柴田喜久雄

1 収 入
政務活動費 120,000- 円

2 支 出

(単位: 円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	110,750	
研修費	5,000	
資料購入費	7,000	
合 計	122,750	

注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領 収 証		柴田 喜久雄 様		No. _____	
金 額		¥ 32000 -			
内 訳	但 2/19~21 視察研修旅費等				
現 金	R8 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました				
小 切 手	山形県西村山郡朝日町大字宮宿1159				
手 形	吉田タクシ 一多吉				
消費税額等(%)	吉 田 好 伸				
消費税額等(%)	TEL0237-67-3131				
登録番号		登録番号 T5810918938374			
					GR266324

領 収 証		柴田 喜久雄 様		No. _____	
金 額		¥ 32000 -			
内 訳	但 2/19~21 視察研修旅費等				
現 金	R8 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました				
小 切 手	山形県西村山郡朝日町大字宮宿1159				
手 形	吉田タクシ 一多吉				
消費税額等(%)	吉 田 好 伸				
消費税額等(%)	TEL0237-67-3131				
登録番号		登録番号 T5810918938374			
					GR266324

領 収 証		柴田 喜久雄 様		No. _____	
★		¥ 42,650 -			
但		研修旅行代金			
		2026 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました			
内 訳		有限会社 ユー・トラベル			
税抜金額		山形県知事登録旅行業務第2-210号			
消費税額等(10%)		山形県寒河江市緑町46番地			
		代表取締役 荒木直史			
		TEL0237-83-1331			
		T1390002015832			
収 入 印 紙					
コクヨ ウケ-1097					

—
R 8年2月20日
No

領収証

さま
¥ 4,100-
税込み
但し、復興支援ツアー参加代金として



リブート珠洲

石川県珠洲市宝立町鵜島八字1番地3
宝立町第2団地 1-206
Tel.090-7111-1785

宮口 智美 (宮口)

領 収 証

柴田喜久雄様 令和8年 6 月 6 日

★ 5,000 -

但 年会費として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

コクヨ ウケ-1048

地方と豊かに学び強会
会計担当 棚田裕一
上山市矢来4-8-1



印字機

領 収 書

No.1013808

柴田 喜久雄 様

(金額)

¥7,000*****

『明日への選択』年間購読料(令和7年9月号～8年8月号)として

令和8年3月31日 上記正に領収致しました

日本政策研究センター



昭和63年7月25日第三種郵便物認可 令和8年3月1日発行（毎月1回1日発行） 通巻第482号

明日への選択

主張するシンクタンクの情報誌

3

令和8年



地政学で読む「トランプの米国」の行方 奥山真司

「愛子天皇」待望論の何が問題か 中澤伸弘

高市自民党「圧勝」の意味を考える 過激フェミニズム団体と国連の関係を探る

日本政策研究センター

政務調査報告書

3 番 柴田 喜久雄

1 日程

別紙添付

2 研修内容、調査地

社会福祉法人 光道園 障害者支援施設

ライトワークセンター

石川県輪島、珠洲両市の能登半島地震後の復興状況視察

金沢建築館

3 参加者氏名

石井喜久男、柴田喜久雄、長岡裕二、鈴木義昭、佐竹祐樹

4 調査、研修目的

- ① 光道園の視察では能登半島地震の際の入所者の避難、退避や料品食料品の確保などについて調査。
- ② 輪島、珠洲両市については現在の復興状況について
- ③ 金沢建築館 伝統建築と現代建築の再現

5 研修内容

① について

説明、案内していただいた方

光道園、ライトワークセンター施設長 水谷 昌代様

当町出身の入所者 笹原 重康様

当園は光道園鯖江事業所と光道園朝日事業所の2事業所です
次の4つの支援事業を行っている

☆障害者支援 ☆児童支援 ☆高齢者支援 ☆総合支援地域活動

能登半島地震は令和6年1月1日元旦の午後4時10分頃に

発生しまだ職員も全員在庁しており外は夕暮れ時でまだ少し
明るかったこともあり人的被害はほとんどなかったとのこ
とでした。

当施設における避難訓練状況は月に1回職員全員出勤しての避難訓練
を実施し年に2回昼夜を問わずそれぞれのアクションカードによる訓練
を実施している。

食料の備蓄については、2階の非常食倉庫に5日分備蓄して
いるとのことでした

その他、事業開始以来令和8年度で70周年の節目を迎える

とのことでした。現在は各県に当施設のような園は多種多様に整備されていますが当時は各県になかった施設で自らも全盲の障害を持ちながら全国の障碍者のために光道園を創設した初代園長「中道益平」が生涯貫き通した精神「愛なき人生は暗黒であり汗なき社会は墮落である」を光道園精神として社会情勢がいかに変わろうとも継承し実践している。

当所に入所なされている笹原さんも88歳とのこと昭和49年8月に入所以来52間の長きにわたりお世話になっているわけですが、当時県内はもちろん東北にも障碍者向けの施設はなく県の当局が福井県にあるとのことに入所がなかったとのことでした。米寿を迎えられ私たちが退所する際に健康に気を付けてますます元気にお過ごし下さいと激励してきました。

② について

◎ 輪島市

次の研修地は能登半島地震における甚大な被害にあわれた輪島市と珠洲市の復興状況の視察でした。車は、金沢市から海岸沿いの高速道路をスムーズに走り続け輪島市に近づくにつれて道路の決壊している箇所が目につくようになりました。1200年以上の歴史のある朝市で有名な輪島市中心街に到着し朝市が道路の両端に軒を連ねる通りは見ると影もなく一面更地となっていました。ここに出店していた方たちは大型ショッピングモールワイプラザの中や全国の商業施設やイベントなどに出張輪島朝市として朝市の歴史を守っていかうとがんばっていました。ワイプラザの中に入ってみるとその大きさ、広さに圧倒されました。地元の各商店のみならず農水産物、工業製品など所狭しと営業していました。

朝市のおばさんに当時の状況をきくことができました。発生が夕方でしたすごい揺れでパニック状態になりその後津波と火災が発生して着の身着のままの状態でしたただ逃げるのに精一杯でしたと話してくれました。店で饅頭を買い頑張ってくださいと話して別れ次の視察地の珠洲市に向けて出発しました。

◎ 珠洲市

案内人 復興支援ガイドツアー

チーフガイド 防災士 宮口 智美さん

輪島市から珠洲市への道路は海岸沿いを避け中央突破のすず道路を選択して一路珠洲市目指して進行この道路も途中片交が多くいたところで復旧工事が急ピッチで進められていました。昼食の後1時30分か

ら能登半島地震復興支援ガイドツアー、見附島公園集合場所に到着し自己紹介の後案内板により巡回順路の後見附島の前、後や海岸線の隆起、陥没の説明の後吉田タクシーに乗り市内各地の今現在の状況、仮設住宅の状況街中の被災前の様子といま私たちが目の当たりにしている現実を大きな写真によつての説明には驚くほかありませんでした。ぽつりぽつり新たに家屋は新築されているもののインフラ整備はまだまだといったところで橋や道路は寸断のまままだ片付けの終わっていない家屋電線のない大きく傾いた電柱、いたるところに瓦礫の山、橋脚だけ残った橋等々復興、復旧はまだまだこれからの状況でした。地上にある浄化槽は初めて見ました。

倒壊した建物、更地化された宅地や道路、津波の痕跡崩落現場、避難所の状況、仮設住宅など丁寧に案内、説明していただいた宮口さんに感謝し一日も早い復旧、復興をお祈りし珠洲市を後にした。

③ 金沢建築館 谷口吉郎・吉生記念館

吉郎氏は失われていく歴史的建造物を憂い有識者とともに「金沢診断」を実施し保存と開発の調和をまちづくりの基本にすべきと市に提言してそれが契機となって日本で初めて伝統環境保存条例が制定された。この建築館を設計したのは長男の吉生氏であり館内には吉郎氏の代表作である迎賓館赤坂離宮和風別館の広間と茶室が再現されている。

市民や金沢を訪れる人の建築文化やまちづくりにたいする関心にくたえている。私たちが訪れたのはいいのですが当館には駐車場がなく路駐もできなく道路に停車して車窓から外観を観察するにとどまりました。誠に残念に思いました。

6 所感

光道園の研修では2度目の訪問でしたが当町出身の笹原さんはことし88才の米寿を迎えられたとはいえ、変わらずご壮健にてお暮らしのこと安心しました。

お二人の案内でライトワークセンターの作業場、食堂、居室などの案内ののち会議室での質疑応答全盲の方々が生き生きと生活していることに感激しました。

輪島市、珠洲市の復興状況につきましてはまだまだ始まったばかりでこれから何年かかるのかと思うと胸が痛みます。しかしながら被災者の皆さんの将来に向かってひたむきに生活している姿に激励の言葉しかありませんでした。

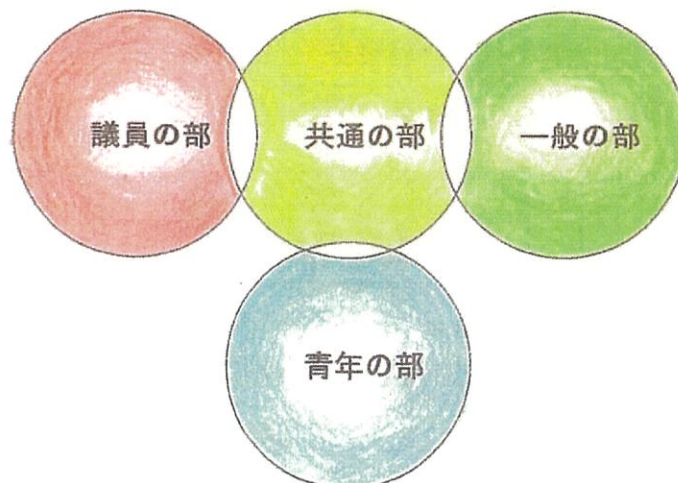
金沢建築館間については中に入ることが出来ず外観の見学に終わり残念に思います。

令和8年度地方を豊かにする勉強会

総 会

【会のモットー】

1. 楽しく生き活きと
2. 早く来い来い地方の春が



日 時：令和8年2月8日（日）午後2時

場 所：山形国際交流プラザ4F

令和 8 年度地方を豊かにする勉強会

出席予定者数：24名

総 会

【次 第】

司会者：鈴木照一

1. 開会のあいさつ 総括事務局長 工藤 清 PM. 2:00
2. 会長のあいさつ 会長 樋口和男
3. 総会の成立 (委任状含む会員の1/3以上) 事務局
4. 議長選出
5. 議事

- | | | | | |
|-------|--------------|------|------|------|
| 第1号議案 | 令和7年度事業報告 | 事務局長 | 棚井裕一 | 1~2P |
| 第2号議案 | 令和7年度収支決算報告 | 会計 | 高橋要市 | 3P |
| | 監査報告 | 監事 | 田中英子 | 3P |
| 第3号議案 | 令和8年度事業計画(案) | 事務局長 | 棚井裕一 | 4~7P |
| 第4号議案 | 令和8年度収支予算(案) | 会計 | 高橋要市 | 8P |
| 第5号議案 | 役員改選(案) | 事務局長 | 棚井裕一 | 9P |
| | ・会長あいさつ | | | |
| 第6号議案 | その他 | | | 10P |
| | ・会歌の発表 | | | |
| 参 考 | | | | |
| | ・規約 | | | 11P |

6. 閉会のあいさつ 会計 高橋要市 PM. 3:00

【第1号議案】

令和7年度事業経過報告

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

NO	日	時	項	目	備	考
1	1月14日(火)		第1回シニア勉強会	4名	天童市榎矢宅	
2	1月20日(月)		第2回シニア勉強会	5名	鈴川コミセン	
3	8日(土)	10:00分	第1回事務局会議	6名	仁藤事務所	
4	2月11日(火)		第3回シニア勉強会	5名	五十鈴接骨院	
5	21日(金)		第4回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
6	3月15日(土)	13:00分	第1回役員会	14名	千歳コミセン	
7	15日(土)	14:00分	令和7年度総会	23名	千歳コミセン	
8	18日(火)		第5回シニア勉強会	5名	鈴川コミセン	
9	19日(水)		総会欠席者(28名)・退会者(3名)資料郵送			
10	21日(金)		第6回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
11	4月19日(土)		第7回シニア勉強会	5名	五十鈴接骨院	
12	22日(火)		第8回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
13	5月11日(日)	14:30分	日置道隆講演会	47名	山形国際交流プラザ	
14	19日(月)		第9回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
15	31日(月)		第10回シニア勉強会	6名	五十鈴接骨院	
16	6月20日(金)		第11回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
17	21日(土)		第12回シニア勉強会	6名	五十鈴接骨院	
18	7月12日(土)		第13回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
19	14日(月)		第14回シニア勉強会	5名	鈴川コミセン	
20	8月6日(水)	15:00分	第2回事務局会議	6名	鈴川コミセン	
21	23日(金)		第15回シニア勉強会	7名	五十鈴接骨院	
22	9月20日(土)		第16回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
23	27日(土)		第17回シニア勉強会	6名	五十鈴接骨院	
24	10月20日(月)		第18回シニア勉強会	5名	天童市榎矢宅	
25	25日(土)		第19回シニア勉強会	5名	五十鈴接骨院	

NO	日	時	項	目	場	所
26	11月	8日(土)	15:00分	第3回事務局会議	7名	鈴川コミセン
27	16日(日)			第20回シニア勉強会	5名	天童市榊矢宅
28	22日(土)			第21回シニア勉強会	5名	五十鈴接骨院
29	12月	13日(土)	10:00分	第2回役員会	9名	鈴川コミセン
30	19日(水)			第22回シニア勉強会	5名	天童市榊矢宅
31	20日(木)			第23回シニア勉強会	4名	五十鈴接骨院



輪王寺住職 日置道隆

——— 令和7年5月11日(日) 山形ビックウイング ———

【第2号議案】

令和7年度収支決算報告

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

【収入の部】

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
会 員	140,000	105,000	△35,000	21名x5000円
寄 付 金	10,000	0	△10,000	
繰 越 金	130,767	130,767	0	
事業収入	40,000	21,500	△18,500	研修1回裁 (5/11)
そ の 他	8,795	0	△8,795	
合 計	329,562	257,267	△72,295	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
事 務 費	70,000	4,480	△65,520	
会 議 費	20,000	10,515	△9,485	
総 会 費	30,000	2,049	△27,951	
事 業 費	140,000	13,000	△127,000	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	69,562	0	△69,562	
合 計	329,562	30,044	△299,518	

【収 入】

【支 出】

【次年度繰越金】

257,267円 - 30,044円 = 227,223円

令和7年度監査報告

地方を豊かにする勉強会の現金及び預金残高、関係帳票を照合した結果、適正かつ正確に執行していることを証明します。

令和8年1月30日

監事

丹 野 貞 子

丹野

監事

田 中 英 子

田中

【第3号議案】

令和8年度事業計画（案）

（令和8年1月1日～令和8年12月31日）

1. 共通の部

▷ **講演会の開催**

①地方を豊かにする勉強会発会5周年記念事業 別紙

②元防衛事務次官黒江哲郎「時局講演会」 別紙

2. 議員の部

▷ **学習会の開催**

・検討していく

3. 一般の部

▷ **シニア勉強会の開催**

・月2回の開催

4. 青年の部

地方を豊かにする勉強会発会5周年記念事業

戦後80年代を迎え 新しい日本の姿とは

1. 開催日時 令和8年3月8日(日) 14時00分～17時00分
2. 開催場所 山形国際交流プラザ4F中会議室 山形市平久保100
☎023-635-3100
3. 講師 岡田幹彦先生 日本政策研究センター主任研究員
4. 演題 「戦後80年代を迎え新しい日本の姿とは」
5. 参加人数 先着100名
6. 参加費 1000円
7. 主催 地方を豊かにする勉強会
8. 後援 山形再生会議・山形県神社庁
9. 受付 13:30分～ 担当者:3名

【第1部】 講演会

【講演会次第】

・司会 副会長 二藤 俊

- | | | | | |
|-------------|------|-------|-------------|------|
| ・開会のあいさつ | 副会長 | 鈴木照一 | 14:00~14:02 | (2) |
| ・主催者あいさつ | 会長 | 樋口和男 | 14:02~14:07 | (5) |
| ・後援者紹介・あいさつ | | | 14:07~14:12 | (5) |
| 紹介のみ 山形再生会議 | 会長 | 峯田豊田郎 | | |
| 挨拶あり 山形神社庁 | | 林 保彦 | | |
| ・講師紹介 | 司会者 | 二藤 俊 | 14:12~14:15 | (3) |
| ・講演 | | 岡田幹彦 | 14:15~15:25 | (70) |
| ・質疑 | 若干名 | | 15:25~15:30 | (05) |
| ・閉会のあいさつ | 事務局長 | 工藤 清 | 15:30~15:35 | (5) |

【第2部】 “理解を深めるディスカッション”

15:35~16:35 (60)

地方を豊かにする勉強会「発会5周年のあゆみ」と「積極財政」

・コーディネーター：地方を豊かにする勉強会会長 樋口和男

元防衛事務次官黒江哲郎「時局講演会」

テーマ

南西諸島のシーレーン防衛と日本の国益

1. 開催日時 令和8年10月3日(土) (案) 14時00分～15時30分
2. 開催場所 山形国際交流プラザ4F 中会議室 山形市平久保100
☎023-635-3100
3. 講師 黒江哲郎先生
4. 演題 「南西諸島のシーレーン防衛と日本の国益」
5. 参加人数 先着100名
6. 参加費 1000円
7. 主催 地方を豊かにする勉強会
8. 開催主旨

- ・日本の国益は国民の日常生活に直結し、いろんな影響を及ぼします。即ち、日常生活を守り維持していくための「守国三原則」は、我が国の健康のバロメーターであり日本の国益に繋がります。
- ・守国三原則の一つは食(食料)です。 ⇒ 食糧安全保障
二つはエネルギー(電気)です。 ⇒ エネルギー・経済安全保障
三つは戸締まり(防衛)です。 ⇒ 国土安全保障
- ・その中でも、隣接する中国の対外戦略の野望は年々激しさを増し、特に尖閣諸島や日本南西諸島の資源確保や太平洋進出のためのシーレーンの確保のための軍備増強は、我が国にとって脅威そのものとなっています。
- ・このように、国土安全保障の議論が盛んに行われている現況を鑑み、元防衛事務次官の山形県南陽市出身の黒江哲郎先生に來県していただき、「南西諸島のシーレーン防衛と日本の国益」と題してご講演をお願いすることになりました。

9. 講演内容

- ・ バシー海峡や台湾海峡と日本との係わりについて
- ・ 尖閣諸島や台湾と隣接する中国の最近の動きについて
- ・ 太平洋進出を目指す中国の意図するものは何なのか

10. 黒江哲郎先生のプロフィール

- ・ 1958年（昭和33年）生まれ 68歳
- ・ 東京大学法学部卒業
- ・ 1981年（昭和56年）防衛庁（当時）入庁
- ・ 防衛政策局次長 運用企画局長 大臣官房長 防衛政策局長などを経て、2015年～2017年（平成27年～平成29年）の間、第31代防衛事務次官を勤めた。
- ・ 現在、三井住友火災保険顧問で防衛、安全保障の専門家として講演活動中です。

【第4号議案】

令和8年度収支予算（案）

（令和8年1月1日～令和8年12月31日）

【収入の部】

（単位：円）

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
会 員	140,000	140,000	0	28名×5,000円=140,000円
寄 付 金	10,000	10,000	0	企業協賛金
繰 越 金	227,223	130,767	96,456	
事業収入	40,000	40,000	0	
そ の 他	2,777	8,795	△6,018	
合 計	420,000	329,562	90,438	

【支出の部】

（単位：円）

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
事 務 費	70,000	70,000	0	
会 議 費	20,000	20,000	0	会議室使用料など
総 会 費	30,000	30,000	0	会費・資料など
事 業 費	250,000	140,000	110,000	研修会など
雑 費	0	0	0	
予 備 費	50,000	69,562	△19,562	
合 計	420,000	329,562	90,438	

【第5号議案】

役員改選（案）

（令和8～9年）22名

NO	役 職	氏 名	所 在 地	備 考
1	会 長	樋 口 和 男	山辺町	山辺町議
2	副会長 若干名	鈴 木 照 一	天童市	天童市議
3		仁 藤 俊	山形市	山形市議
4	会 計	高 橋 要 市	上山市	上山市議
5	幹 事 12名	青 柳 宏 太	宮城県湧谷町	
6		日 置 道 隆	宮城県仙台市	輪王寺住職
7		須 藤 潤 也	福島県福島市	
8		高 岡 遼 多	南陽市	南陽市議
9		高 橋 正 樹	山形市	山形市議
10		吉 田 栄四朗	山形市	
11		大津加 佐千子	山形市	
12		佐 藤 耕 治	寒河江市	寒河江市議
13		梅 津 智 也	白鷹町	
14		柴 田 喜久雄	朝日町	朝日町議
15		佐 藤 利 和	山辺町	山辺町議
16		斎 藤 眞 一	中山町	中山町議
17	監 事 2名	田 中 英 子	山形市	山形市議
18		丹 野 貞 子	河北町	河北町議
19	事務局 若干名	工 藤 清	山形市	総括事務局長
20		棚 井 裕 一	上山市	事務局長 上山市議
21		佐 藤 清 子	山形市	事務局員
22		早 坂 登志行	山形市	事務局員

1	顧 問 2名	安 藤 裕	京都府宇治市	元衆議院議員
2		峯 田 豊太郎	山形市	前会長 元山形市議

【第6号議案】

その他

- ・ 会歌について

地方を豊かにする勉強会規約

(名称及び事務所)

第1条 本会は、地方を豊かにする勉強会と称し、事務所を山形市内に置く。

(目的)

第2条 本会は、私たちの暮らしといのちを守り、持続発展可能な地方社会の実現にむけ、勉強会を通して地方を豊かにしていくことを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 専門分野の勉強会
- (2) 共通課題の取り組み
- (3) 要望活動
- (4) 広域連携
- (5) 日常のコミュニケーション（広報活動）
- (6) 仲間づくり
- (7) その他目的達成に必要な事項

(組織)

第3条 本会は、地方を豊かにする勉強会の入会者をもって構成する。

(役員会)

第4条 本会に役員会を設け、次の者をもって構成する。

- | | | |
|---------|-----|----------------------|
| (1) 会長 | 1名 | 会務を総括する |
| (2) 副会長 | 若干名 | 会長を補佐し、事故又は欠けた時の職務代理 |
| (3) 会計 | 若干名 | 会の会計 |
| (4) 幹事 | 若干名 | 会の円滑運営 |
| (5) 監事 | 2名 | 会計の監査 |
| (6) 事務局 | 若干名 | 会の事務一般 |

2 役員会は必要に応じて会長が招集する。

(役員の任期)

第5条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

(総会)

第6条 本会の総会は、年1回開催し、会長が招集する。

- 2 総会は、会の事業、予算決算、規約の改廃その他重要事項を審議する。
- 3 総会は、会員の3分の1以上（委任状を含む）の出席をもって成立する。

(顧問)

第7条 本会に顧問を置くことができる。

(会費)

第8条 本会の経費は、会費及び寄付金等をもって充当する。

2 会費は年会費を5,000円とする。

(会計年度)

第9条 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

(附則)

本規約は、令和4年3月27日より施行する。

令和6年2月12日 一部改正

